

ヨーロッパの温泉地における医療観光について
 - 『世界温泉遺産』を事例として -
 Medical Tourism in the Hot Spring Resorts of Europe
 - A Case Study of “Hot Springs Heritage of the World” -

○西山孝樹¹, 天野光一¹, 阿部貴弘¹ 直井森一²

*Takaki Nishiyama¹, Koichi Amano¹, Takahiro Abe¹, Moriichi Naoi²

Abstract: In Europe, hot springs have been used for recuperation purposes since the Roman era. More recently, the medical benefits of hot springs have been exploited in so-called “medical tourism”. However, the hot spring resorts visited by medical tourists, and how medically beneficial resorts are related to their surrounding areas, have been little investigated.

This paper investigates the type of water treatment administered to customers at medicinal hot spring resorts, and the treatment time. Medicinal hot spring resorts in 16 European locations were found to be classifiable into three categories.

1. はじめに

ヨーロッパでは、古代ローマ時代から温泉療養が実施されており、様々な温泉地が各地に点在している。さらに、近年では医療を目的とした旅行、いわゆる医療観光（医療ツーリズム、メディカルツーリズム、Medical Tourism）も先進的に実施されている。

しかしながら、医療観光として訪れた温泉地およびその周辺地域がどのように関連しているのか、明らかにされているとは言い難い状況にあるといえる。

そこで本稿では、ヨーロッパの各温泉地を訪れた人々が、医療を受けている時間以外で、どのような観光（周辺の観光地も含む）やイベントに参加したり、施設を利用したりしているのか、基礎情報を得ることを目的とした。

2. 研究方法

日本テレビ系列のBSデジタル放送局「BS日テレ」では、毎週火曜日に『世界温泉遺産～神秘的力を訪ねて～』という番組が放映されている。

番組ホームページに記載されている第1回～第100回の放送内容紹介で、「医療」というキーワードが含まれているヨーロッパの温泉地を研究対象とし、Table.1に示した16ヶ所を抽出した。そのうえで、各温泉地および周辺の観光地において、Table.2に示した観光ツアーや諸施設などの存在有無から、考察を行った。

3. 研究結果

抽出した16ヶ所の温泉地において、訪れた人々が滞在中に何をしているかを『ミシュランガイド』に代表される観光ガイドブックおよび各市のホームページか

ら、Table.2の項目に沿って整理した。その結果、Fig.1に図化した3種類にTable.1の温泉地を分類することができ、次節でそれらの内容を詳述した。

Table.1 Study results of hot spring resorts

| 国名 | 温泉地名 | 温泉地の立地 |
|-----------------------------------|---------------|-------------------|
| (1)【独立系】独立して成り立っている温泉地 (9ヶ所) | | |
| チェコ | エリザベート温泉 | カルロヴィ・ヴァリ市内 |
| イタリア | テルメ・ディ・サトルニア | サトルニアから南東へ約2km |
| イタリア | ベトリオーロ温泉 | シエナから南へ約30km |
| フランス | アックス・レ・テルメ | フォアから南東へ約40km |
| フランス | レンヌ・レ・バン | カルカソンヌから南へ約40km |
| ドイツ | バート・リーベンツェル | カルフから北へ約9km |
| ドイツ | バーデン・バーデン | カルフから西へ約30km |
| ドイツ | 温泉療養センター | バート・ヴァルツァッハ |
| ドイツ | キス・サーリス温泉 | バート・キッシンゲン |
| (2)【付随系】近隣のまちに付随して成り立つ温泉地 (3ヶ所) | | |
| イタリア | テルメ・ディ・パーピ | ビテルボから西へ約5km |
| フランス | ラ・ブルブール | ル・モンドールから西へ約7km |
| ハンガリー | ハルカーニ | ペーチから南へ約20km |
| (3)【一要素系】一観光資源として成り立っている温泉地 (4ヶ所) | | |
| スイス | ハイルバート・サンモリッツ | サンモリッツ市内 |
| スイス | シュクオル | シュクオル村内 |
| スロベニア | ピラン | リュブリャナから南西へ約100km |
| ハンガリー | キライ温泉 | ブダペスト市内 |

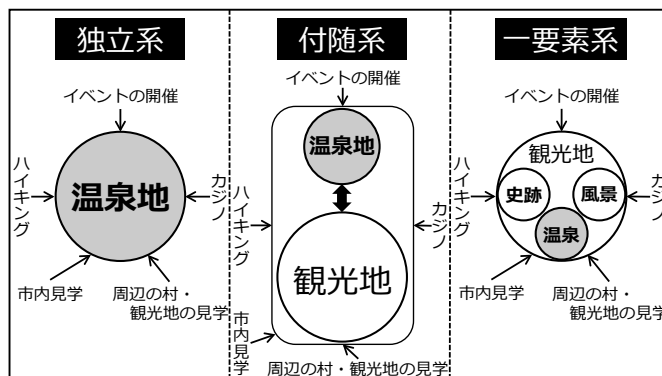


Fig. 1 Classifications of hot spring resorts in Europe

1 : 日大理工・教員・まち 2 : 元日大理工・学部・交通

Table. 2 Study results of hot spring categories

| 分類 | 分類項目 温泉地名 | 国立公園・世界遺産 | | | 観 光 | | イ ベ ント | | | 施 設 | | 研究・教育 | | 時 代 | | | |
|------|--------------|-----------|---------|------|------|------|--------|----|------|-----|------|-------|----|-----|----|----|----|
| | | 国立公園 | スキーリゾート | 世界遺産 | 市内観光 | 周辺観光 | ハイキング | 文化 | スポーツ | カジノ | 屋内施設 | 学会研究 | 教育 | 古代 | 中世 | 近世 | 近代 |
| 独立系 | カルカソヌ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | レンヌ・レ・バン | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | カルフ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | バーデン・バーデン | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 付随系 | バート・リーベンツェル | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ル・モンドール | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ラ・ブルブール | ○ | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ベーチ | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 一要素系 | ハルカーニ | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ブダペスト | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | キラライ温泉 | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ |
| | シュクオル (村内) | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |

(1) 独立して成り立っている温泉地 (9ヶ所)

1つの温泉地のなかで、医療観光が成り立っており、独立している所としては、9ヶ所が存在した。

フランスのレンヌ・レ・バンは、人口が約 170 人ほどの小さな村であるが、古代ローマ時代から温泉が湧く村として知られている。北へ約 40km の所には、世界遺産に登録されているカルカソヌがあり、この都市に付随して成り立つ温泉地であるとも考えられる。

しかし、レンヌ・レ・バンでは、職業病等の場合、医療費を全額保障される温泉治療施設 (国内に 105ヶ所) の 1つに指定されている。さらに、「国際民俗フェスティバル」を毎年開催するなど、イベントの実施にも積極的である。また、現代アーティストに対して、アートスペース (作品の販売も可能) が付随した住宅の貸し出しも行っている。そのことから、独立した温泉地に分類することができると考えられる。

ドイツには、一大温泉地として有名なバーデン・バーデンがある。この地を訪れる人々は、温泉地に滞在して医療を受けることが主目的であるとみられることから、カジノなどの屋内施設も充実している。市内を流れるアレー川沿いには、「リヒテンターラーアレー」と呼ばれる散歩道が約 2km にわたって整備されている。

また、バーデン・バーデンにも近いバート・リーベンツェルでは、ガイド付の電動自転車ツアーや 16 コースに及ぶハイキングコースが整備されている。また、ドイツハイキング協会認定の「健康ハイキングガイド」によるハイキングが毎週月曜日に実施されている。

(2) 近隣のまちに付随して成り立つ温泉地 (3ヶ所)

ラ・ブルブールに近接するル・モンドールは、サンシー自然保護区に位置し、オーベルニュ火山群、モンドールの最高峰 (標高 1886m) であるピュイ・ド・サンシーが横たわる。冬季はスキー、夏季はアウトドアスポーツを楽しめる一大リゾート地である。

ル・モンドールの中心部には、手入れが行き届いた 5 つの広大な公園があり、そのうち 2ヶ所には、ピクニックテーブルが常設されている。点在する湖のまわりには、歩道が整備されており、散歩も可能である。

温泉地であるラ・ブルブールには、子供を対象とした治療施設が充実している。1901年に開校した「喘息の学校」では、18日の間にわたって、気管支炎や喘息の治療が行われ、その費用は健康保険で賄われる。また、ル・モンドールには、家族で楽しめるアドベンチャーパークなども整備されており、リゾート地に付随した温泉地であることがわかる。

(3) 一観光資源として成り立っている温泉地 (4ヶ所)

ハンガリーの首都、ブダペストは、古代ローマ時代から温泉が湧いていたことで発展してきた。キラライ温泉以外にも、市内にはゲッレールト温泉などがある。現在では、世界遺産に登録されている旧市街をはじめ、様々な観光資源が点在しており、そのうちのひとつとして温泉が位置づけられていると考えられる。

4. まとめ

本稿では、ヨーロッパの温泉地と医療観光 (周辺の観光地を含む) が、どのように成り立っているのか、その基礎情報を得ることを目的とし、考察を進めてきた。これからの課題として、医療観光と温泉地の関係について、本稿よりも多くの分類項目を加え、体系化を緻密に図って行きたい。

5. 参考文献

[1] Cynthia Clayton Ochterbeck: “The Green Guide TUSCANY”, Michelin Travel Partner, 408p, 2012.
 [2] Martha Burley: “The Green Guide ITALY”, Michelin Travel Partner, 612p, 2013. ほか